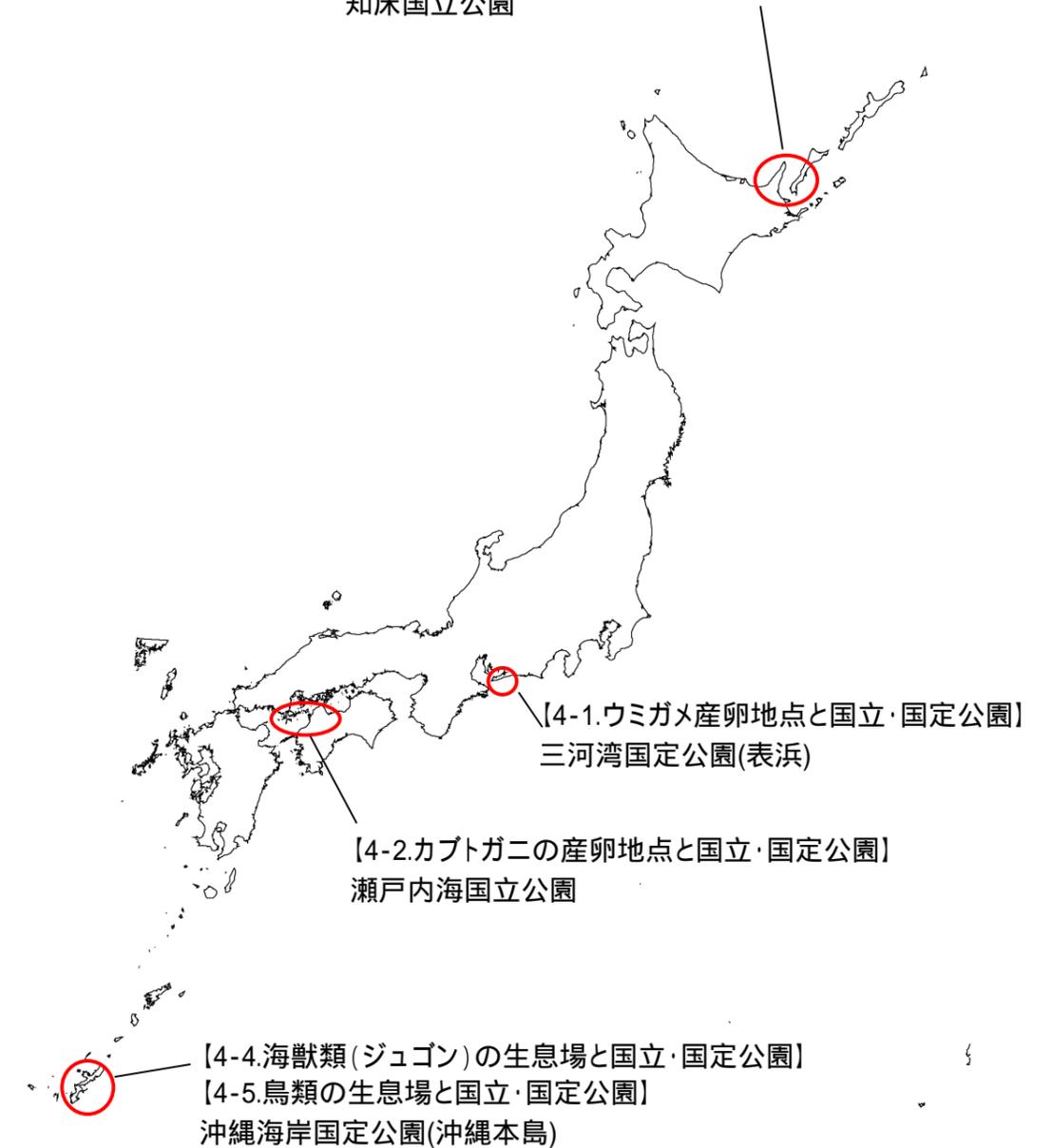


日本全国の国立・国定公園内の、主に海域を利用する野生動物に関する現状を既存の GIS データを用いて解析した(資料 4-1～4-6)。

・分析内容

	テーマ	重ねあわせデータ	分析内容	図示対象地域
資料 4-1	ウミガメの上陸・産卵場と国立・国定公園	国立・国定公園×ウミガメ類	ウミガメ類の上陸・産卵場が国立・国定公園に含まれる割合など	三河湾国定公園(表浜)
資料 4-2	浅海域保全の指標となる動物(カブトガニ)の産卵地点と国立・国定公園	国立・国定公園×カブトガニ	浅海域保全の指標となる動物(カブトガニ)の産卵地点が国立・国定公園に含まれる割合など	瀬戸内海国立公園
資料 4-3	海獣類(トド・ゴマフアザラシ)の上陸場と国立・国定公園	国立・国定公園×トド、ゴマフアザラシ	トド、アザラシ等海獣類の上陸場が国立・国定公園に含まれる割合など	知床国立公園
資料 4-4	海獣類(ジュゴン)の生息場と国立・国定公園	国立・国定公園×ジュゴン	ジュゴンの生息場が国立・国定公園に含まれる割合など	沖縄海岸国定公園(沖縄本島周辺)
資料 4-5	鳥類の生息場と国立・国定公園	国立・国定公園×ガンカモ、シギ・チドリ類、IBA	海辺の鳥類の生息場が国立・国定公園に含まれる割合など	沖縄海岸国定公園(沖縄本島周辺)

【4-3.海獣類(トド・ゴマフアザラシ)の上陸場と国立・国定公園】  
知床国立公園



【4-1.ウミガメ産卵地点と国立・国定公園】  
三河湾国定公園(表浜)

【4-2.カブトガニの産卵地点と国立・国定公園】  
瀬戸内海国立公園

【4-4.海獣類(ジュゴン)の生息場と国立・国定公園】

【4-5.鳥類の生息場と国立・国定公園】

沖縄海岸国定公園(沖縄本島)

資料4-1. ウミガメの上陸地点・産卵地点と国立・国定公園

(ウミガメの上陸地点・産卵地点で国立・国定公園と重なっている割合)

【分析目的】

・近年生息数が減少しているウミガメ類の産卵地点・上陸地点が国立・国定公園に含まれる割合を確認する。

【分析の概要】

・ウミガメ類(アカウミガメ、アオウミガメ、タイマイ)の産卵・上陸場で国立・国定公園内と重なっている地点数

	アオウミガメ		アカウミガメ		タイマイ		種不明	
	産卵地点	上陸地点	産卵地点	上陸地点	産卵地点	上陸地点	産卵地点	上陸地点
国立公園	30	49	6	102	1	5	0	17
国定公園	0	10	5	96	0	6	0	28
公園外	3	40	52	321	0	9	0	166
総計	33	99	63	519	1	20	0	211

	アオウミガメ		アカウミガメ		タイマイ		種不明	
	産卵地点	上陸地点	産卵地点	上陸地点	産卵地点	上陸地点	産卵地点	上陸地点
国立公園	90.9%	49.5%	9.5%	19.7%	100.0%	25.0%		8.1%
国定公園	0.0%	10.1%	7.9%	18.5%	0.0%	30.0%		13.3%
公園外	9.1%	40.4%	82.5%	61.8%	0.0%	45.0%		78.7%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

注 1): 四捨五入の関係上、合計しても 100%にならない場合がある。

注 2): それぞれの種ごとの産卵地点、上陸地点は重複しているものもある。

【分析結果】

- ・アオウミガメは上陸地点、産卵地点が二番目に多く確認され、産卵地点は 30 地点(90.9%)が国立公園に含まれ、上陸地点は 49 地点(49.5%)が国立公園に、10 地点(10.1%)が国定公園に含まれる。
- ・アカウミガメは上陸地点、産卵地点が最も多く確認され、産卵地点は 6 地点(9.5%)が国立公園に、5 地点(7.9%)が国定公園に含まれ、上陸地点は 102 地点(19.7%)が国立公園に、96 地点(18.5%)が国定公園に含まれる。
- ・タイマイは産卵地点が一箇所しか確認されて折らず、国立公園内である。上陸地点は 5 地点(25.0%)が国立公園に、6 地点が国定公園(30.0%)に含まれる。
- ・ウミガメ類の産卵地点については、アオウミガメは国立・国定公園内に多く産卵しているが、アカウミガメは国立・国定公園以外に産卵している方が多いことが確認された。

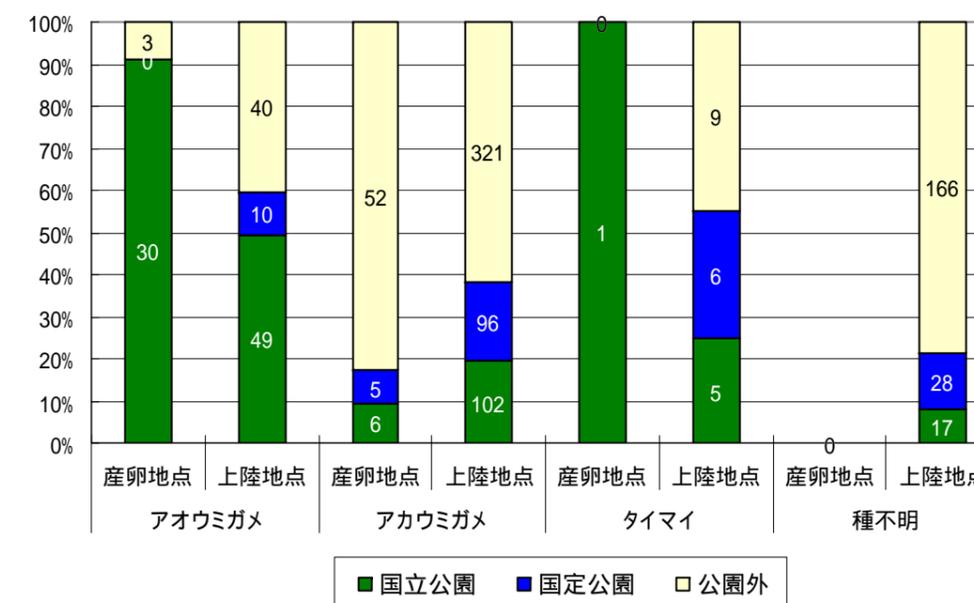


図 1 ウミガメ類(アカウミガメ、アオウミガメ、タイマイ)の産卵・上陸場で国立・国定公園内と重なる地点数

【出典】

重ねあわせデータ	出典
国立・国定公園	・国立・国定公園(環境省自然環境情報GIS)基礎データを基に修正
アカウミガメ、アオウミガメ、タイマイ、種不明	・浅海域生態系調査(ウミガメ調査)報告書(第5回自然環境保全基礎調査 海棲動物調査)

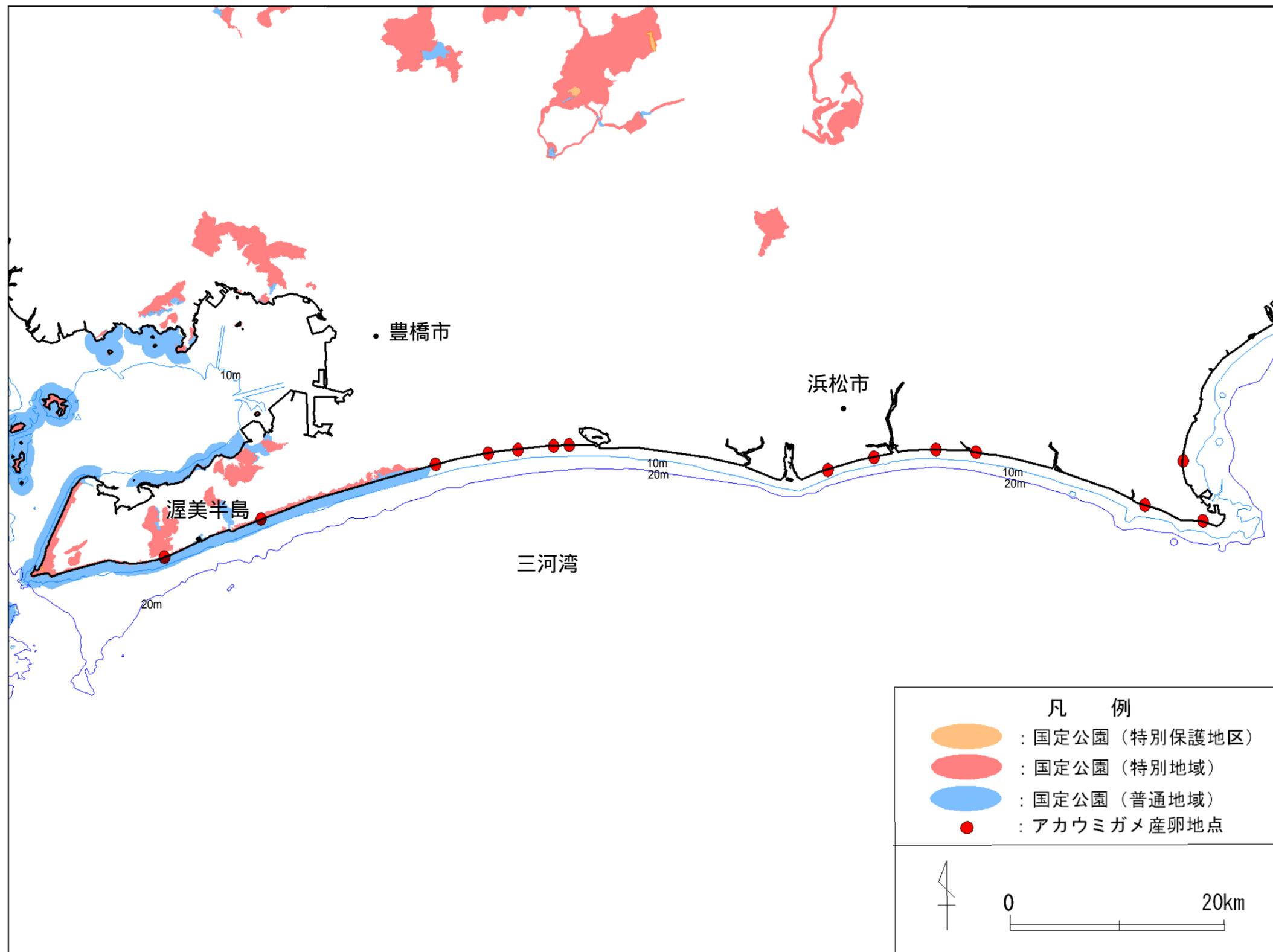


図 2 三河湾国定公園(表浜)におけるウミガメ類の産卵場所の状況

出典:「国立・国定公園:(環境省自然環境情報 GIS を基に修正)」、「海岸線データ:日本全域海岸線データ,海洋情報センター、1996~2000年(10万の1を代表縮尺として編集されている)」、「ウミガメ類上陸・産卵場所:浅海域生態系調査(ウミガメ調査)報告書,環境省」

資料4-2. 浅海域保全の指標となる動物(カブトガニ)の産卵地点と国立・国定公園

(浅海域保全の指標となる動物(カブトガニ)の産卵地点が国立・国定公園に含まれる割合)

【分析目的】

- ・浅海域保全の指標となる動物(カブトガニ)の産卵地点が国立・国定公園に含まれる割合を確認する。

【分析の概要】

・カブトガニの産卵地点が国立・国定公園内に含まれる地点数

	カブトガニの 産卵地点数
国立公園	3 地点
国定公園	2 地点
公園外	12 地点
全地点数	17 地点

・カブトガニの産卵地点が国立・国定公園内に含まれる割合

	カブトガニの 産卵地点数
国立公園	17.6%
国定公園	11.8%
公園外	70.6%
総計	100%

【分析結果】

- ・カブトガニの生息場のうち、17.6% (3 地点) が国立公園に、11.8% (2 地点) が国定公園に含まれる。

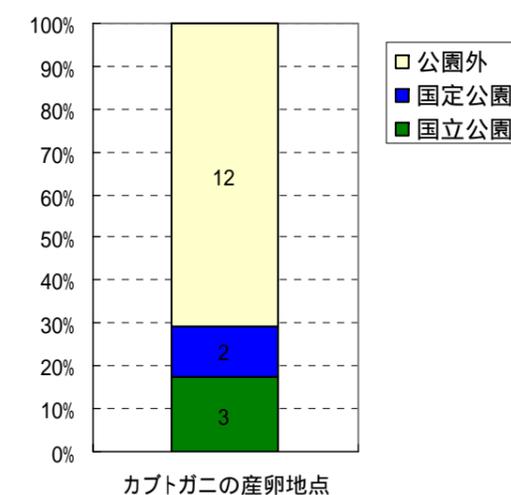


図 3 カブトガニの産卵地点が国立・国定公園内に含まれる地点数

【出典】

重ねあわせデータ	出典
国立・国定公園	・国立・国定公園(環境省自然環境情報GIS)基礎データを基に修正
カブトガニの産卵地点	・東京大学大学院総合文化研究科清野研究室資料、カブトガニの棲む干潟 八坂川の河川改修と環境保全 大分県 p.60(1999)清野聡子・宇多高明・大分県

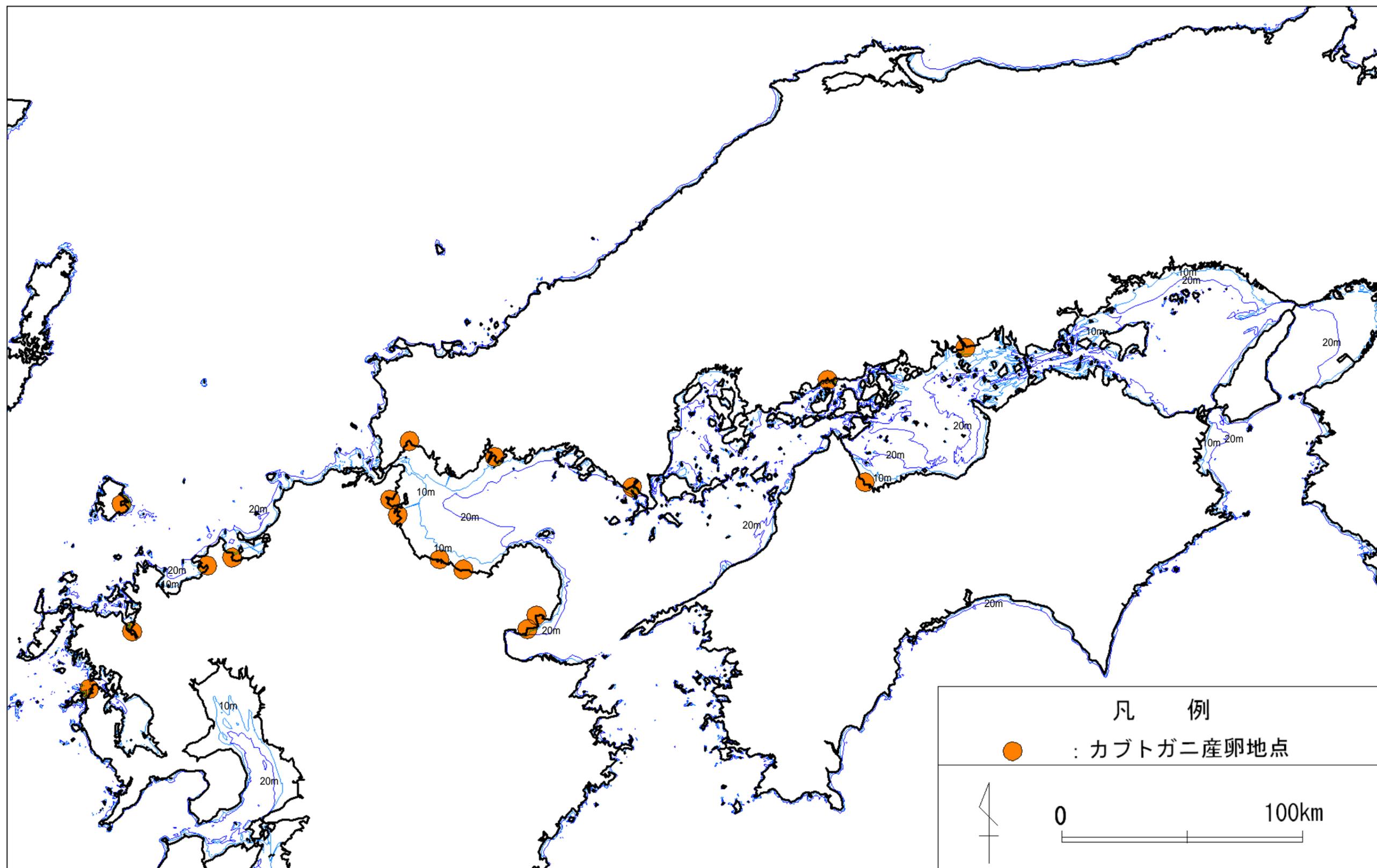


図 4 日本におけるカブトガニの産卵地点

出典：「海岸線データ：日本全域海岸線データ、海洋情報センター、1996～2000年(10万の1を代表縮尺として編集されている)」、「カブトガニ産卵地点：カブトガニ産卵地点：東京大学大学院総合文化研究科清野研究室資料、カブトガニの棲む干潟 八坂川の河川改修と環境保全 大分県 p.60(1999)清野聡子・宇多高明・大分県」

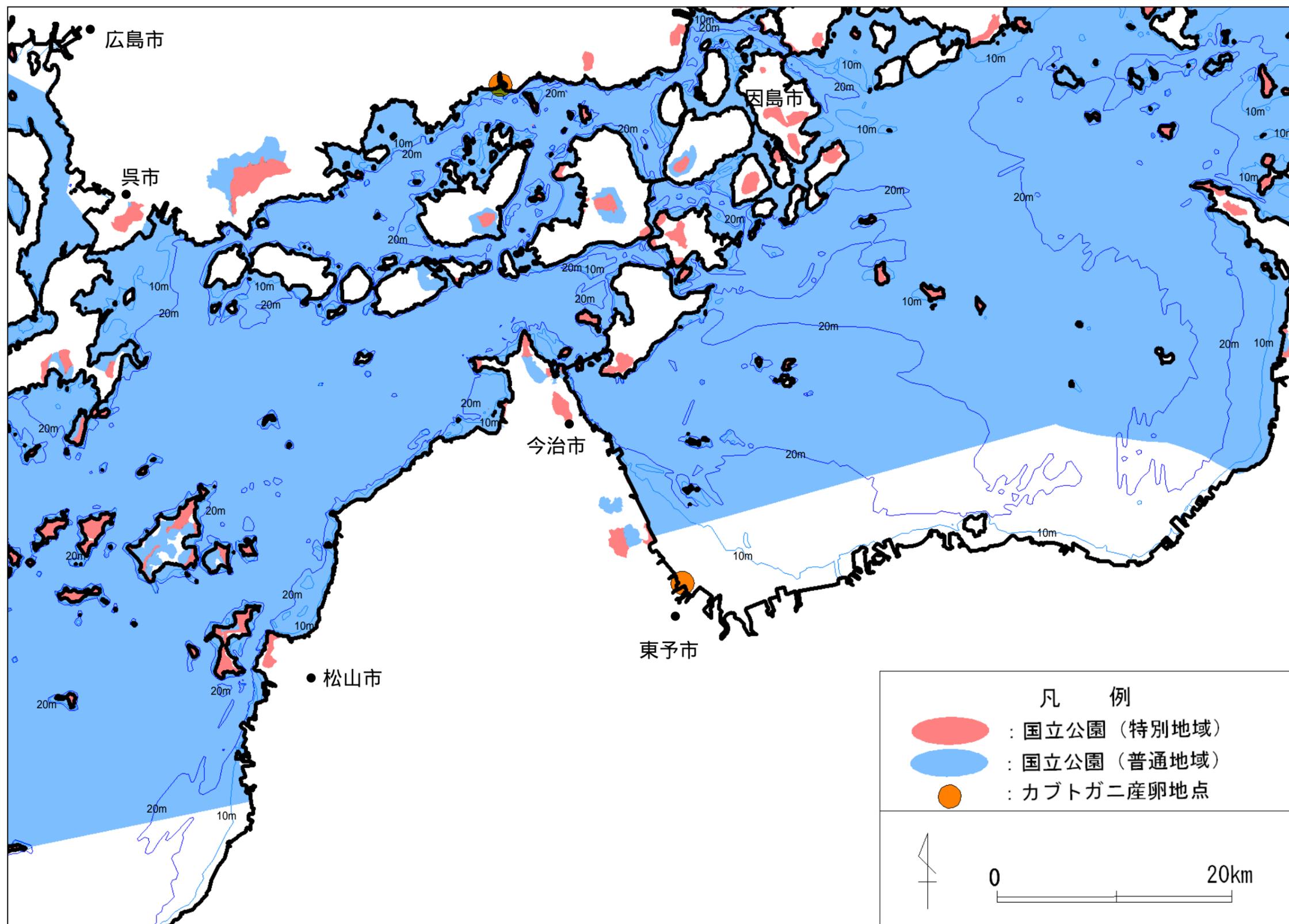


図 5 瀬戸内海国立公園におけるカブトガニの産卵地点

出典：「海岸線データ：日本全域海岸線データ、海洋情報センター、1996～2000年(10万の1を代表縮尺として編集されている)」、「カブトガニ産卵地点：東京大学大学院総合文化研究科清野研究室資料、カブトガニの棲む干潟 八坂川の河川改修と環境保全 大分県 p.60(1999)清野聡子・宇多高明・大分県」

資料4-3. 海獣類（トド、ゴマフアザラシ）の上陸場と国立・国定公園

(海獣類の上陸場(トド、ゴマフアザラシ)が国立・国定公園に含まれる割合)

【分析目的】

- ・ 広範囲な調査結果のあるトド、ゴマフアザラシの調査結果を用い、海獣類の上陸場がどれくらい国立・国定公園に含まれているか確認する。

【分析の概要】

- ・ トド、ゴマフアザラシの上陸場で国立・国定公園内と重なっている地点数

	トド上陸場		ゴマフアザラシ上陸場	
	地点数	割合	地点数	割合
国立公園	1	12.5%	4	8.0%
国定公園	3	37.5%	9	18.0%
公園外	4	50.0%	37	74.0%
総計	8	100.0%	50	100.0%

注 1) 四捨五入の関係上、合計しても 100%にならない場合がある。

注 2) トド上陸場のデータは複数年のものを使用している。

【分析結果】

- ・ トド上陸場として確認されている 8 地点のうち、50%の 4 地点が国立公園・国定公園に含まれる。
- ・ ゴマフアザラシ上陸場として確認されている 50 地点のうち、26.0%の 13 地点が国立公園・国定公園に含まれる。

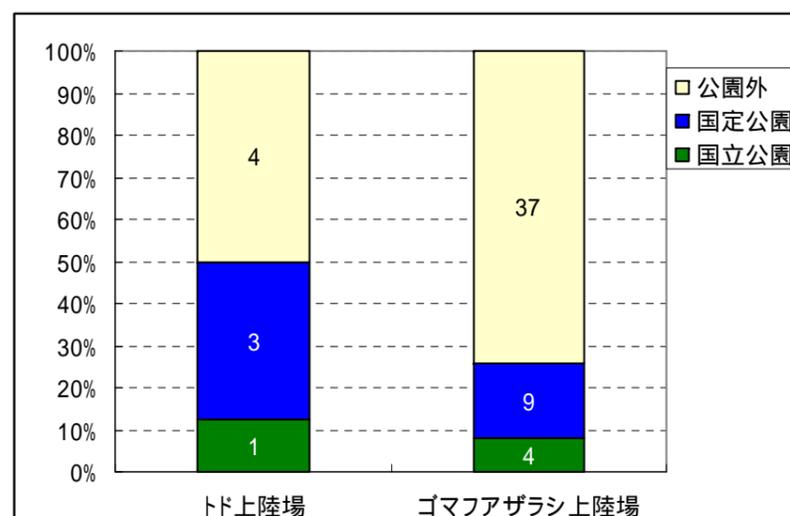


図 6 トド・ゴマフアザラシの上陸場が国立・国定公園内に含まれる地点数

【出典】

重ねあわせデータ	出典
国立・国定公園	・国立・国定公園（環境省自然環境情報GIS）基礎データを基に修正
海獣類	・ゴマフアザラシ（アザラシ類保護管理報告書 平成18年3月(環境省)、トド(種の多様性調査(動物分布調査)2002)

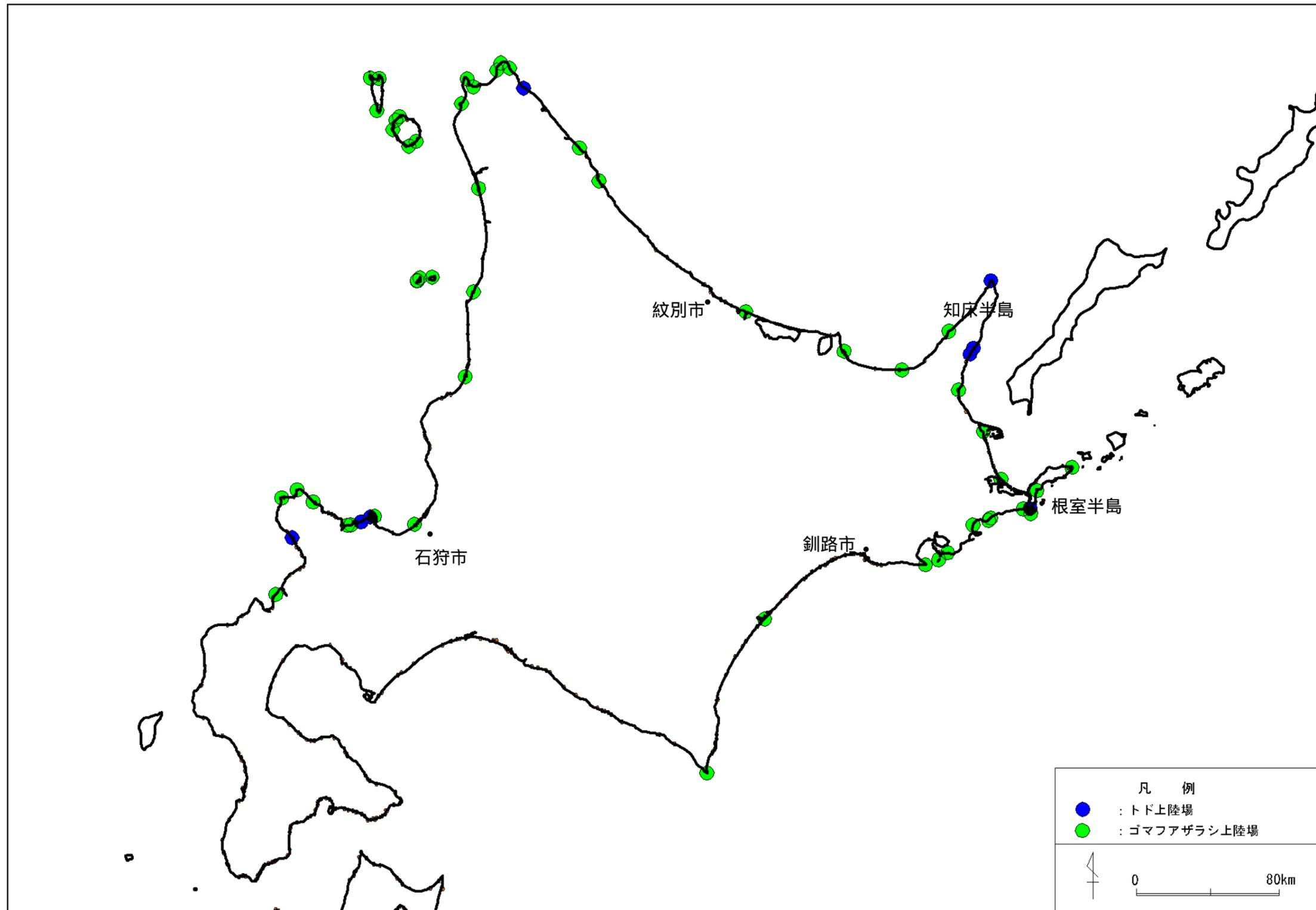


図 7 北海道における海獣類(トド、ゴマフアザラシ)の上陸場

出典:「国立・国定公園: (環境省自然環境情報 GIS を基に修正)」、「海岸線データ: 日本全域海岸線データ, 海洋情報センター、1996～2000 年(10 万の 1 を代表縮尺として編集されている)」、「アザラシ: アザラシ類保護管理報告書 平成 18 年 3 月、環境省」、「トド: (種の多様性調査(動物分布調査)2002)」

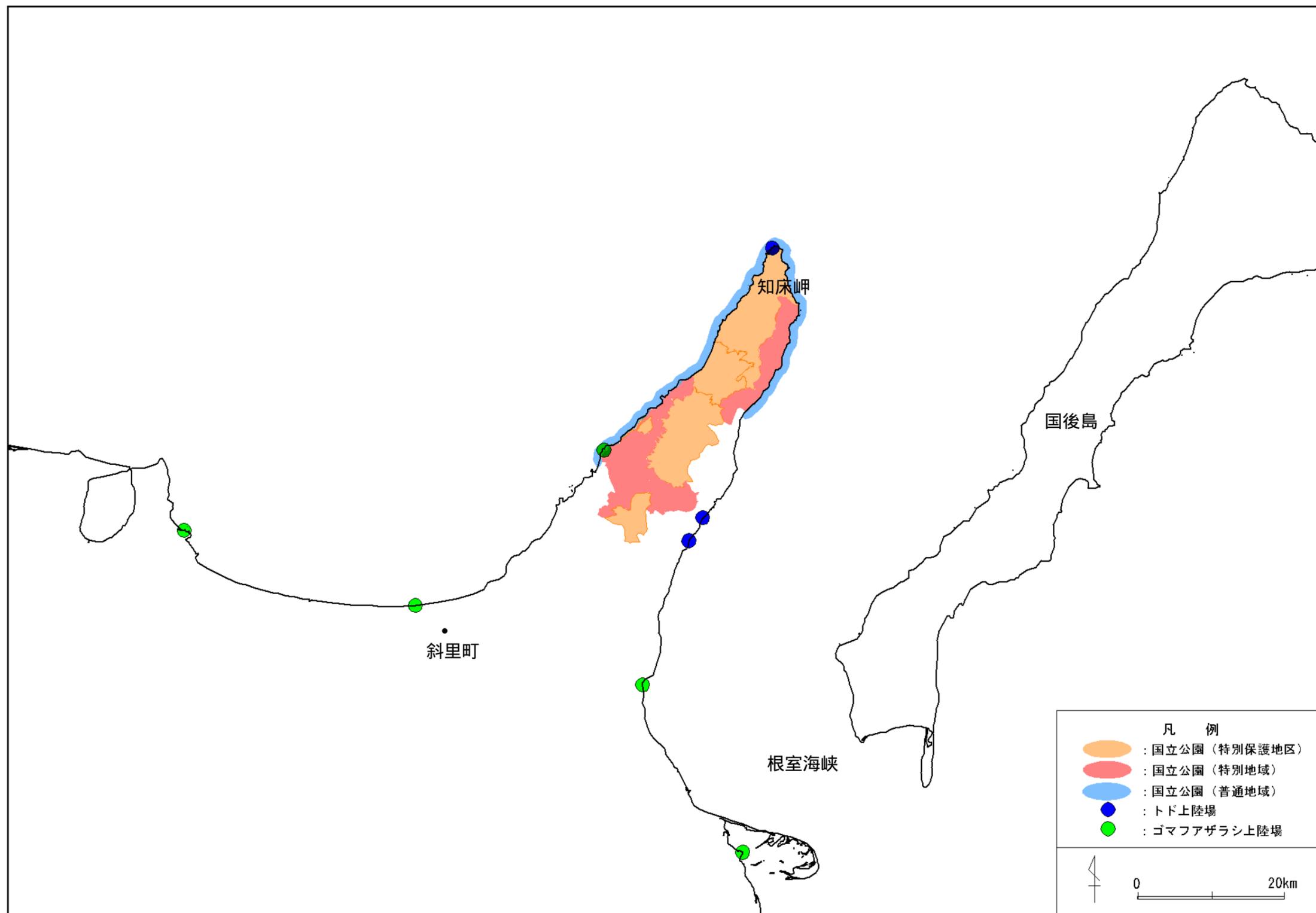


図 8 知床国立公園における海獣類(トド、ゴマフアザラシ)の上陸場

出典:「海岸線データ:日本全域海岸線データ,海洋情報センター、1996～2000年(10万の1を代表縮尺として編集されている)」「アザラシ:アザラシ類保護管理報告書 平成18年3月、環境省」、「トド:(種の多様性調査(動物分布調査)2002)」 注:公園区域は2005年4月時点(海域普通地域拡張前)

資料4-4. 海獣類（ジュゴン）の生息場と国立・国定公園

(海獣類(ジュゴン)の生息場が国立・国定公園に含まれる割合)

【分析目的】

- ・ 沖縄本島周辺海域に生息するジュゴンについて、目視、食跡(はみ跡)が確認された地点がどれくらい国立・国定公園に含まれているか確認する。

【分析の概要】

- ・ ジュゴンの生息場で国立・国定公園内と重なっている地点数

	目視地点		食跡確認地点		合計	
	地点数	割合	地点数	割合	地点数	割合
国立公園	0	0%	0	0%	0	0%
国定公園	1	3%	18	60%	19	32%
公園外	28	97%	12	40%	40	68%
総計	29	100%	30	100%	59	100%

注 1) 四捨五入の関係上、合計しても 100%にならない場合がある。

注 2) ジュゴンの目視地点、食跡確認地点には防衛庁が行った調査結果も含んでいる。

【分析結果】

- ・ ジュゴン目視地点 29 地点のうち、1 地点(3%)が国定公園に含まれ、食跡確認地点 30 地点のうち 18 地点(60%)が国定公園に含まれる。なお、目視視点と食跡確認地点を合計した地点数 59 地点のうち、19 地点(32%)が国定公園に含まれる。

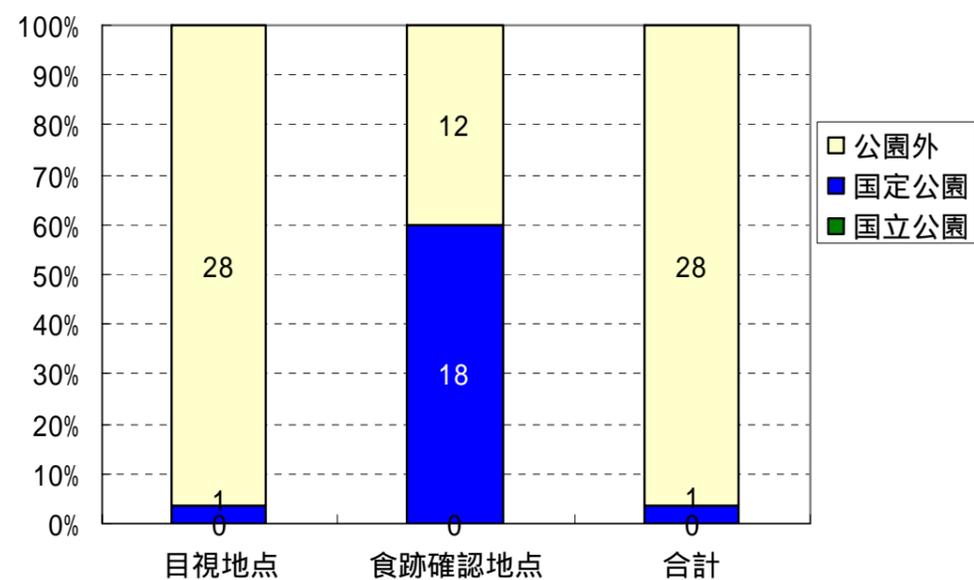


図 9 ジュゴンの生息場が国立・国定公園内に含まれる地点数

【出典】

重ねあわせデータ	出典
国立・国定公園	・国立・国定公園（環境省自然環境情報GIS）基礎データを基に修正
海獣類	・ジュゴン(ジュゴンと藻場の広域的調査 平成13～17年度 環境省、(平成12年防衛施設庁調査結果含む))

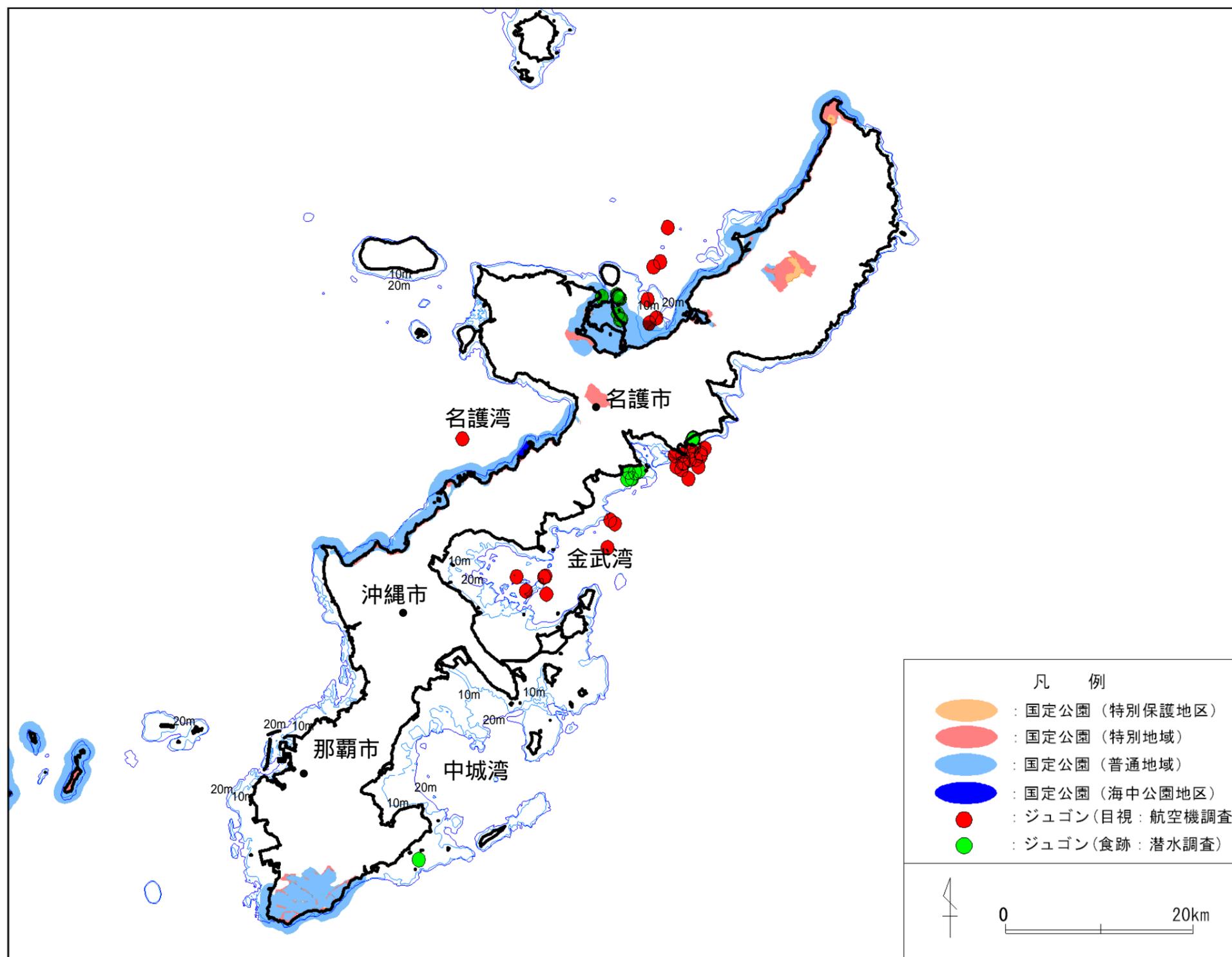


図 10 沖縄海岸国立公園(沖縄本島周辺)におけるジュゴンの生息場

出典：「国立・国立公園：（環境省自然環境情報 GIS を基に修正）」、「海岸線データ：日本全域海岸線データ、海洋情報センター、1996～2000 年（10 万の 1 を代表縮尺として編集されている）」、「ジュゴン（ジュゴンと藻場の広域的調査 平成 13～17 年度 環境省）、平成 12 年防衛施設庁調査結果含む」

資料4-5. 鳥類の海辺の生息場と国立・国定公園

(鳥類の海辺の生息場が国立・国定公園に含まれる割合)

【分析目的】

- ・ 海辺の湿地や干潟はガン・カモ科などの水鳥、シギ・チドリ類の重要な生息場である。これらの鳥類の海辺の生息場が国立・国定公園に含まれる割合を確認する。

【分析の概要】

・ガン・カモ科の生息場、シギ・チドリ類の渡りの場、IBA(重要野鳥生息地)が国立・国定公園内に含まれる地点数

	ガンカモ科 生息地点数	シギ・チドリ類 生息地点数	IBA地点数
国立公園	149 地点	3 地点	1 地点
国定公園	150 地点	3 地点	3 地点
(うち鳥獣保護区内)	(0 地点)	(1 地点)	(0 地点)
公園外	1,005 地点	41 地点	32 地点
(うち鳥獣保護区内)	(29 地点)	(3 地点)	(2 地点)
全地点数	1,304 地点	47 地点	36 地点

・ガン・カモ科の生息場、シギ・チドリ類の渡りの場、IBA(重要野鳥生息地)が国立・国定公園内に含まれる割合

	ガンカモ科 生息地点数	シギ・チドリ類 生息地点数	IBA地点数
国立公園	11.4%	6.4%	2.8%
国定公園	11.5%	6.4%	8.3%
(うち鳥獣保護区内)	(0.0%)	(2.1%)	(0.0%)
公園外	77.1%	87.2%	88.9%
(うち鳥獣保護区内)	(2.2%)	(6.4%)	(5.6%)
全地点数	100.0%	100.0%	100.0%

注 1: ガン・カモ科の生息場、シギ・チドリ類の渡りの場については、環境省の生息調査を行っている場所を主要な生息場とした。IBA(重要野鳥生息地)とは重複しているものもある。また、内水面(川、湖等)についてはカウントしていない。

注 2: 四捨五入の関係上、合計しても 100%にならない場合がある。

注 3: 鳥獣保護区は国指定鳥獣保護区

【分析結果】

- ・ ガン・カモ科の生息場のうち、11.4% (149 地点) が国立公園に、11.5% (150 地点) が国定公園に含まれる。なお 2.2% (29 地点) は国立・国定公園に含まれないが、鳥獣保護区に含まれる。
- ・ シギ・チドリ類の生息場のうち、6.4% (3 地点) が国立公園に、6.4% (3 地点) が国定公園に含まれる。なお、6.4% (3 地点) は国立・国定公園に含まれないが、鳥獣保護区に含まれる。
- ・ IBA(重要野鳥生息地)のうち、2.8% (1 地点) が国立公園に、8.3% (3 地点) が国定公園に含まれる。なお、5.6% (2 地点) は国立・国定公園に含まれないが、鳥獣保護区に含まれる。

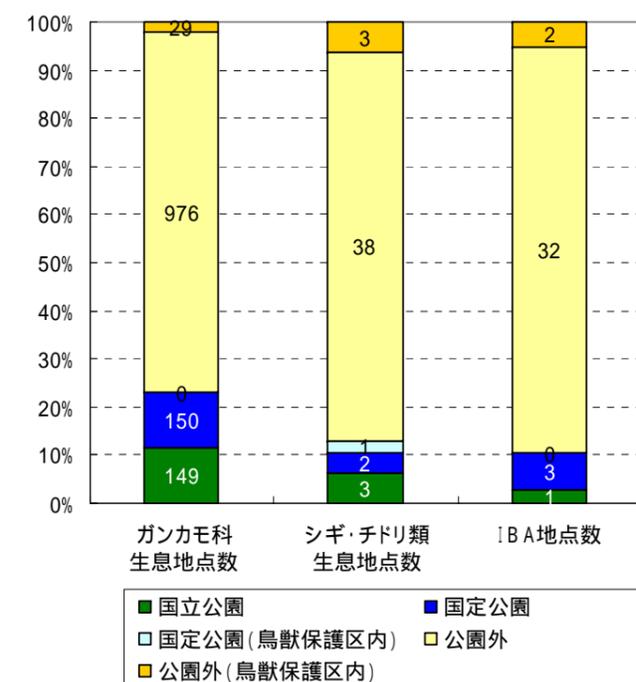


図 11 鳥類の海辺の生息の場が国立・国定公園内に含まれる地点数

【出典】

重ねあわせデータ	出典
国立・国定公園	・ 国立・国定公園（環境省自然環境情報GIS）基礎データを基に修正
鳥類の生息場	・ ガンカモ科生息場(生物多様性情報システム、ガンカモ科鳥類の生息調査) ・ シギ・チドリ類渡来湿地(シギチドリ類渡来湿地目録 環境省) ・ IBA( Important Bird Areas ) 重要野鳥生息地 (財)日本野鳥の会

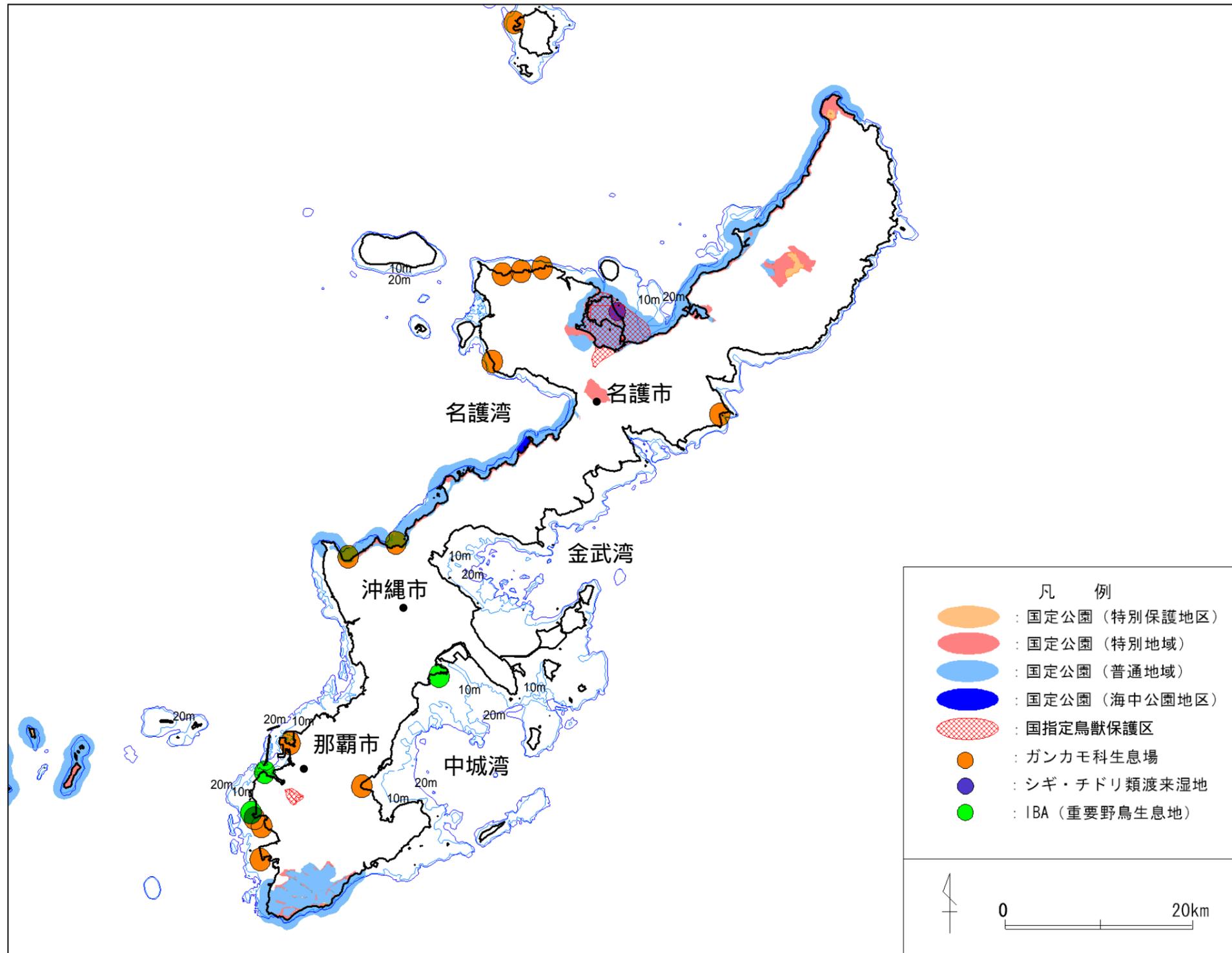


図 12 沖縄海岸国定公園(沖縄本島周辺)における鳥類の生息場

出典：「国立・国定公園：(環境省自然環境情報 GIS を基に修正)」、「海岸線データ：日本全域海岸線データ、海洋情報センター、1996～2000 年(10 万の 1 を代表縮尺として編集されている)」、「ガンカモ科生息場：生物多様性情報システム、ガンカモ科鳥類の生息調査」、「シギ・チドリ類渡来湿地：シギ・チドリ類渡来湿地目録 環境省」、「IBA ( Important Bird Areas )：重要野鳥生息地 (財)日本野鳥の会」、「鳥獣保護区：鳥獣保護区位置図(自然環境情報 GIS：1999 年)」

注 1：海域にかからない鳥類の生息場については図示していない。

国立公園内に生息すると考えられる海産外来生物リスト

綱	種名	要注意外来生物	海域を含む国立公園地域														
			利尻礼文サロベツ	知床	陸中海岸	富士箱根伊豆	小笠原	伊勢志摩	吉野熊野	山陰海岸	大山隠岐	瀬戸内海	足摺宇和海	西海	雲仙天草	霧島屋久	西表
甲殻	タテジマフジツボ キタアメリカフジツボ ヨーロッパフジツボ アメリカフジツボ イッカククモガニ	2															
多毛	カニヤドリカンザシ カサネカンザシ	2 1															
腹足	カラムシロ シマメノウフネガイ	2															
二枚貝	ムラサキイガイ ミドリイガイ コウロエンカワヒバリガイ	1 1 2															
ホヤ	マンハッタンボヤ クロマメイタボヤ																
褐藻	ヒラムチモ																
渦鞭毛藻	<i>Alexandrium tamarense</i> <i>Heterocapsa circularisquama</i>																

要注意外来生物1:被害に係る一定の知見があり、引き続き指定の適否について検討する外来生物

要注意外来生物2:被害に係る知見が不足しており、引き続き情報の集積に努める外来生物

国定公園内に生息すると考えられる海産外来生物リスト

綱	種名	要注意外来生物	海域を含む国定公園地域																									
			暑寒別天売焼尻	網走	ニセコ積丹小樽海岸	日高山脈襟裳	下北半島	津軽	南三陸金華山	男鹿	鳥海	水郷筑波	南房総	佐渡弥彦米山	能登半島	越前加賀	若狭湾	三河湾	北長門海岸	室戸阿南海岸	玄海	吉岐対馬	日豊海岸	日南海岸	奄美群島	沖縄海岸	沖縄戦跡	
甲殻	タテジマフジツボ キタアメリカフジツボ ヨーロッパフジツボ アメリカフジツボ イッカククモガニ	2																										
多毛	カニヤドリカンザシ カサネカンザシ	2 1																										
腹足	シマメノウフネガイ																											
二枚貝	ムラサキイガイ ミドリイガイ コウロエンカワヒバリガイ ウスカラシオツガイ	1 1 1																										
褐藻	ヒラムチモ																											

要注意外来生物1:被害に係る一定の知見があり、引き続き指定の適否について検討する外来生物

要注意外来生物2:被害に係る知見が不足しており、引き続き情報の集積に努める外来生物